

平成28年度シラバス 3年生 普通科理系 <公民(政治・経済)>

1. 単位数・使用教科書等

単位数	2単位
使用教科書	数研出版 高等学校政治・経済
副教材等	とうほう 政治・経済資料2016 数研出版 ステイナブル政治・経済 改訂版

2. 学習目標

1 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深化させる。 2 現代の政治、経済、国際関係に関する興味・関心を涵養し、その客観的な理解を深める。 3 現代の政治、経済に関する諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を養成する。
--

3. 学習方法

授業では教科書の流れを中心に、資料集で重点的に内容を深めていきます。「知ること」を終えた後は、「自分で考え」、「その考えを表現する」ことを行います。常に「なぜ」という問題意識とそれをどのように解決(理解)するかを心の中に持ちながら、授業に参加してください。 授業の予習・復習を適宜行って下さい。「授業中は「知って」「考える」姿勢を常にもって取り組んでください。ノートの整理をしっかりと行い、知識を羅列ではなく、系統的に整理し、他の知識との関連性を重視し、理解するようにします。

4. 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います			
(①関心・意欲・態度)	(②思考・判断・表現)	(③資料活用の技能)	(④知識・理解)
現代の政治、経済、国際関係について関心を高め、それぞれの課題を意欲的に追究する態度を身につけている。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事象から課題を見だし、その課題の本質や望ましい解決の在り方などについて、広い視野に立って多角的・多面的に考察し、様々な立場をふまえながら公正に判断し、学習を通して追究した過程や結果を的確に表現することができる。	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々な手段を通して収集し、集めた情報を主体的に選択し、活用している。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や理論などを理解し、その知識を修得している。
上記の観点を踏まえて、 (1) 授業への取り組み(授業態度、学習への参加状況など) (2) 提出物 (3) 定期テスト (4) 小テスト などから、総合的に評価します。			

5. 課題・提出物等

適宜、レポート等を課す予定です

6. 指導計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	備考
4	* 選挙について 1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 1節 民主政治の基本原則 1 政治と法 2 民主政治のあゆみ 3 民主政治の基本原則とその展開 4 政治体制の比較 2節 日本国憲法と基本的人権 1 日本国憲法的基本的性格	* 平成28年度選挙権引き下げにともない選挙に関する学習を行う。 ◎国内政治や国際政治の基本的事項や課題に対する関心を高め、民主政治の本質を探究する姿勢を身につける。 ・日本国憲法の成立過程をふまえ、憲法の三大原理を正しく理解する。	
5	2 基本的人権の保障 3 日本国憲法の平和主義 3節 日本の政治機構 1 国会の仕組みと役割 2 内閣と行政機構	・日本国憲法的基本的人権の構造を整理理解する。「新しい人権」について判例学習を通じ理解する。 ・戦後の流れを理解したうえで、特に冷戦終結後の日本の安全保障について考察する。 ・国会、内閣など日本の統治機構に関する理解を深め、またその課題について考察する。	
中間考査			
5	3 裁判所の仕組みと人権保障 4 地方自治のしくみと住民生活 4節 政治参加と民主政治の課題 1 戦後政治と政党	・裁判所、地方自治など日本の統治機構に関する理解を深め、またその課題について考察する。 ・日本の政党政治の特質を理解するとともに、望ましい政治や政治参加のあり方について考察する。	

6	2 選挙制度のしくみ 3 世論と情報化社会 2章 現代の国際政治 1節 国際政治の動向 1 国際社会の特質 2 国際社会と国際法	・日本の選挙制度の特質を理解するとともに、望ましい政治や政治参加のあり方について考察する。 ・国際社会の成立や国際法に関する基本的な理解を深める。	
期末考査			
7	3 国際社会の組織化 4 戦後国際政治の展開 2節 国際社会の課題と日本の役割 1 核兵器の廃絶と軍縮問題 2 地域紛争と人種・民族問題 3 日本の国際的地位と役割	・国連をはじめ国際機関の役割について考察する。 ・戦後の国際政治の動向(冷戦構造と冷戦後)を概観する。 ・国際平和や人類の福祉に寄与する日本の役割について 考察する。 現代の地域紛争や人権問題、軍縮問題などを理解する。 ニュースとの関連づけをして整理する。	
8 9	1章 現代経済のしくみと特質 1節 経済活動の意義と経済体制 1 人間と経済活動 2 資本主義経済の発展と変容 3 経済活動の主体 2節 現代経済のしくみ 1 市場経済のしくみ	◎基本的な経済の仕組みを理解するとともに、日本経済の現状やその課題、国際経済の動向などを考察する。 ・資本主義経済体制の特質を理解し、その変容を概観する。 ・経済主体相互の関連を整理することで国民経済を理解する。 ・市場の働きや国民所得、景気変動など経済の基本的事項に関する理解を深める。	
10	2 物価の動向 3 国民所得と経済成長 4 財政のしくみと租税 5 金融のしくみと働き	・国民所得や財政の働き、金融の役割と国民生活の関連を考察する。 ・それぞれの課題を理解し、解決方法なども考察する。	
中間考査			
10	3節 日本経済と福祉の向上 1 戦後日本経済のあゆみ 2 中小企業と農業・食料 3 公害防止と環境保全	戦後の復興期より、高度成長、バブル経済とその崩壊後の日本経済を世界情勢とインフレ・デフレに注目しつつ概観する。 戦後農政、成長と環境破壊(公害)を考察する。	
11	4 消費者問題と消費者保護 5 労使関係と労働市場 6 少子高齢社会と社会保障 2章 国民経済と国際経済 1節 国際経済の動向 1 貿易と国際収支 2 国際経済の展開	・質の高い消費者(経済主体)としての在り方と消費活動、労働問題等を考察する。少子高齢社会、社会保障負担の推移を考察する。 ・貿易の意義や国際収支、為替相場の仕組みといった国際経済の基本的な事項を理解する。 ・戦後の国際経済の流れをふまえ、地域統合や経済摩擦、南北問題など国際経済をとりまく課題を理解する	
期末考査			
12	2節 国際経済の課題と国際協力 1 地球環境と資源・エネルギー問題 2 発展途上国の経済と経済協力 3 国際経済における日本	・国際経済の現状をふまえ、日本の果たすべき役割と課題を理解する。	
1	現代社会の諸課題 持続可能な社会の形成を目指して 1節 現代日本の諸課題 1 少子高齢社会と社会保障 2 地域社会の変貌と住民生活 3 雇用と労働をめぐる問題 4 産業構造の変化と中小企業 5 農業・食料問題 6 大規模自然災害とエネルギー問題	◎政治や経済に関する基本的な理解をふまえ、現代日本の諸課題を主体的に追究する態度を養う。 ・人口動態の推移、情報化社会、住民生活と地方自治、産業構造の変化と中小企業、少子化と社会保障、T P P等を考察する。	数項目を選択学習。 授業で取り上げない項目はプリント
2	2節 国際社会の諸課題 1 地球環境と資源・エネルギー問題 2 国際経済格差の是正と国際協力 3 人種・民族問題と地域紛争 4 国際社会における日本の立場と役割	◎政治や経済に関する基本的な理解をふまえ、国際社会の諸課題を主体的に追究する態度を養う。 ・平和主義と安全保障、地球環境問題、国際紛争、テロ組織、経済摩擦と外交などから取り上げた課題について追究する学習を行い、望ましい解決の在り方について考察する。 ・学年全体のまとめ	数項目を選択学習。 授業で取り上げない項目はプリント
期末考査			